

仙台城 NOW ! vol.20

発行
仙台市教育委員会文化財課
仙台城史跡調査室
令和6年9月27日

今回は仙台城にある石垣についてご紹介します。
一口に石垣と言っても、石の大きさや積み方に違いがあります！
仙台城を歩いて登る際には、そういった部分に注目しながら
登城してみてください！

【石垣の種類】

仙台城内で見られる石垣の積み方には、
野面（のづら）積みと**切石（きりいし）積み**
があります。

野面積み：加工していない石を使う積み方

切石積み：四角に加工した石を使う積み方



① 大手門脇櫓石垣

大手門があった場所の南側にある切石積みの石垣です。石垣の上には櫓が建っています。この櫓は、仙台空襲（1945年）で焼失しましたが、昭和42年に再建されています。
※櫓の中に入ることはできません。



② 大手門北側石垣

大手門があった場所の北側にある切石積みの石垣です。石垣の上には江戸時代から残る土堀があります。門に接続していた部分の石は、空襲の影響で熱を受けており、劣化が進み丸みを帯びた形になっています。



③ 中門石垣

道路を挟んで北側と南側に石垣があります。北側は切石積み、南側は野面積みの石垣です。かつては、門がありました。老朽化の影響で取り壊されました。前後には急な角度で折れ曲がる道があり、敵が攻めづらい造りになっています。



④ 清水門石垣

翼門から沢門に至る登城路の途中にある野面積みの石垣です。道を挟んで北側と南側に石垣があり、北側石垣の付近には井戸跡もあります。石垣の近くには、かつて門があった名残として門の礎石（柱の基礎となる部分）が残っています。



⑤ 沢曲輪石垣

清水門を通り過ぎてすぐの場所にある野面積みの石垣です。少し奥まった所にあるため、気づきにくいですが、近くまで行き、見学することができます。



⑥ 沢門下石垣

清水門石垣を過ぎ、登り進むと正面に見える野面積みの石垣です。ここから沢門跡に至る道のりは大きく屈曲しており、石垣と合わせて、防御を意識した造りであることが感じられます。



⑦ 本丸北壁石垣

切石積みの石垣で一番高い所で17mあります。四代藩主綱村公の時代に築かれた石垣ですが、過去の発掘調査では背面から初代藩主政宗公の時代に築かれた野面積みの石垣が見つかっています。石には「O」などの刻印が刻まれた石材もあります。



⑧ 本丸北西石垣

野面積みと切石積みが混在する石垣です。現在は令和4年の地震により被災した箇所を復旧工事を行っています。工事期間中、現場を見学できる「見学通路」が設置されています。お越しの際は、ぜひご覧ください。

※【設置期間】令和6年9月5日～令和7年3月末頃（予定）
【時間】9時～17時